

教育的価値	具 体 の 項 目	教育課程
3【そなえる】	⑳【学校・家庭・地域での日頃の備え】 避難場所や避難方法、避難経路を把握して、安全に避難する。 避難の方法や落ち合う場所、非常持ち出し品、火山の噴火についての正しい理解など、学校や家庭でできる防災対策を行う。	学級活動

【教材名】

「岩手山の噴火に備える」

【児童・指導者】

3年2組 男8人 女11人 計19人 指導者 佐藤 啓

【ねらい】

身の回りにある災害の可能性（岩手山の噴火）を知り、防災意識を高める。

【授業の展開】

段階	主な学習活動	備考
導入	1 DVDを見て大きな災害を想起する。	DVD「ぼくはすぐに逃げたんだ」 ～東日本大震災から学んだこと～
	2 課題を把握する。 釜石の奇跡から、自分で判断することの大切さをとらえ、課題を把握する。	
もしも大きな災害がせまったら、どうすればよいか考えよう		
展開	3 岩手山噴火の可能性について知る。 ・活火山としての岩手山 ・想定される噴火の被害 ・自分たちに迫る危険とは？	副読本（低）「火山ふん火のしくみとひがい」 DVD「岩手山火山防災情報ステーション展示映像」 岩手山火山防災マップ ・班ごとに、子ども同士で話し合い、自分たちで考える。
	4 自分たちにできることを話し合う。 ・学校の避難訓練に真剣に参加する。 ・通学路での避難は？ ・家ではどんな備えをするの？ ・家にいたら、どこに避難すればいい？	
終末	5 家族とともに、どんな備えをするか、話し合う。 ・もしもの時の連絡をどうするか？ ・防災袋、枕元に履き物を。	・参観日であるので、保護者に参加してもらい、家庭での備えについて話し合う。 ・定期的に防災について話し合うことを確認する。
	6 まとめ ○家庭でも防災について考えるきっかけにしよう。	

【まとめ】

本時の最大のねらいは、自分たちで考え、判断して最も適切な避難行動をとれるようになるんだという意識付けであった。

そのために、最も身近な脅威となるであろう、岩手山の噴火を取り扱うことで自分自身の切迫

した問題であると捉えさせようと考え、成功した。

加えて、参観日の授業であったので、親子で、避難場所や避難方法、避難経路を把握して、安全に避難すること、避難の方法や落ち合う場所、非常持ち出し品をどうするかなどを話し合うことで、これからの家庭での防災意識向上につなげようとした。

実際、親子で避難経路や地域の避難場所を確認し合うことができ、続きは家庭に持ち帰って決めようと、発表していた。

どの家庭でもやっていそうで、実際にはなかなかやれていない、避難場所・避難経路や避難の方法、連絡の手段や約束事を確認しておくための良い機会にすることができたと考えている。

<児童の感想>

平成26年度 第3学年学級活動「その時どうする」 12月 1日(月)

3年2組 名前 田村あやか

1 「ボクはすぐに逃げたんだ」を見て、大切なことをメモしよう。

さいだいしんど7 13分ご ひなんした人→57%
 3,000. 1人もつなみにのみこまれなかつた(小中)
 プレートとアメリカプレート(ぼんとはねあがる
 720km, 100km, ひさなみ, おしなみ, 日本う地し
 んど多い①②③をまもる, 自分の命は自分でまもる
 えうていをしんじるな(ハザードマップ)
 2じんなてえもな力をつくせ
 3えせんひなんしにならう。

2 今日の学習をしてわかったこと、気を付けたいことを書きましょう。

かま石の小学生はつなみのこといしん①のことい
 だんから気をつけたいからつなみにのみこまれ
 なかつたんだと思ひます。わたしもつなみに気をつけ
 ひなんしたいです。
 わたしたちの近くには岩手山があります。もしふん
 火するとわたしたち危ひかいかおよびます。あとか
 ざんばいや土石流がおこるといへんです。
 そのため、ふだんからきょう助ぶくろや食べ物
 あつたかとする物をよくいしてなことを考え、気をつ
 けていくことがたいせつだと思ひます。

平成26年度 第3学年学級活動「その時どうする」 12月 1日(月)

3年2組 名前 三浦 逆花

1 「ボクはすぐに逃げたんだ」を見て、大切なことをメモしよう。

さいだいしんど7 につけたが 57% 41%
 3,000. 1人もつなみにのみこまれなかつた(小中)
 プレートとアメリカプレート(ぼんとはねあがる
 720km, 100km, ひさなみ, おしなみ, 日本う地し
 んど多い①②③をまもる, 自分の命は自分でまもる
 えうていをしんじるな(ハザードマップ)
 2じんなてえもな力をつくせ
 3えせんひなんしにならう。

2 今日の学習をしてわかったこと、気を付けたいことを書きましょう。

かま石の小学生はふだんからひなんしんれんをし
 かりたてるからたすかおんだと思ひます。こつては
 岩手山のふん火がこわいのでポストルのようか
 石があたふさいようにするたためにふだんからひ
 なんしんれん マクマなどかこなひんれんにいけ
 ようにしかりくれんこかきおこないた
 いです。しょうらいえんが人に行つたらつなみにあ
 わないように町のくれんなどをすすんでしかり
 おこなたいです。



DVD 資料

